

# 大垣市の家庭教育・青少年健全育成関係事業

大垣市教育委員会社会教育スポーツ課

# 目 次

1. 家庭教育学級事業の概要	1
2. 家庭教育支援総合推進事業の概要	3
3. 留守家庭児童教室の概要	6
4. スイトピア子どもクラブ事業の概要	7
5. 大垣まるごと土曜学園事業の概要	8
6. ウィークエンドファミリースクール事業の概要	12
7. 商い体験事業の概要	13
8. 子どもセンター事業の概要	14
9. 子ども会育成事業の概要	15
10. 子ども会リーダースクール事業の概要	17
11. 少年リーダー育成事業の概要	18
12. 「少年の船」派遣事業の概要	20
13. 青少年憩の森管理事業の概要	22
14. 大垣市山村体験宿泊施設奥養老の概要	23
15. 青年の家の概要	25
16. 少年支援員事業の概要	26
17. 青少年育成推進員事業の概要	29
18. 明るい青少年都市市民会議事業の概要	31
19. 財団法人大垣市青少年育成財団の概要	36

## 1. 家庭教育学級事業の概要

### (1) 親子ふれあい教室

- ①目的 親子が遊びを通じて楽しくふれあいながら、子どもの健全育成を図る。また、参加者同士が交流し、相互の育児相談の場を提供する。
- ②内容 親子がトリム運動や音あそび、七夕飾りを作る。
- ③対象 2～4歳児とその保護者
- ④時期 前期 6月、7月、8月で全3回  
後期 11月、12月、1月で全3回
- ⑤場所 大垣市青年の家
- ⑥開催状況

親子ふれあい講座	H18	H19	H20	H21
開催回数(回)	6	6	6	6
参加人数(人)	231	227	251	236

### (2) 乳幼児家庭教育学級

- ①目的 3歳までの子どもをもつ親を対象に、乳幼児期の発育・心情・ふれあい方を学ぶ場を提供し、家庭の教育力の向上を図る。
- ②内容 乳幼児期における事故・病気の予防と処置、しつけ、言葉、発育に応じた知能の伸ばし方などを学ぶ。
- ③対象 3歳までの乳幼児をもつ親(託児ボランティア支援有)
- ④時期 8月～11月で各学級全8回(6会場で同一内容の学級を開催)
- ⑤場所 大垣市スイトピアセンターほか5会場
- ⑥開催状況

乳幼児家庭教育学級	H18	H19	H20	H21
開催回数(回)	43	43	43	48
参加人数(人)	123	121	138	134

### (3) 乳幼児家庭教育学級研修会

- ①目的 乳幼児に対する理解を深め、託児の実技について勉強する。
- ②内容 講師による乳幼児の遊びの実技指導
- ③対象 託児ボランティア
- ④時期 3月
- ⑤場所 中川ふれあいセンター
- ⑥開催状況

乳幼児家教研修会	H18	H19	H20	H21
開催回数(回)	1	1	1	1
参加人数(人)	24	23	33	118

#### (4) 家庭教育学級

- ①目的 親やこれに準ずる人が、子育ての中で基本的な生活習慣や、ものの感じ方、価値観など人格の基本となるものを身につけさせるために、各家庭で行う教育の支援を行う。
- ②内容 各学級での取り組み（講話、体験学習、施設見学、地域行事への参加など）
- ③対象 市立保育園、幼保園、幼稚園、小学校、中学校の55学級
- ④時期 各学級の計画による。
- ⑤場所 各学級の計画による。
- ⑥開催状況

一般家庭教育学級	H18	H19	H20	H21
学級数（学級）	50	50	49	55
学級生数（人）	7,752	7,623	6,748	19,263

## 2. 家庭教育支援総合推進事業の概要

### (1) 事業の趣旨

家庭の教育力の向上を図るとともに、少子化等の問題に対処するため、ライフステージに応じた学習機会の提供や、育児相談や子育てサークルの支援等を行う「子育てサポーターリーダー」の養成、次世代の親となる若い世代が幼児やその親とふれあい機会や父親の家庭教育参加促進など、すべての親やこれから親となる若い世代に対するきめ細やかな家庭教育支援の取組を促進する。

平成16年度から平成20年度までは、文部科学省の委託事業として実施。

平成21年度からは、市の単独事業として、協議会に所属する団体の事業を教育委員会との共催事業として実施。

### (2) 大垣市家庭教育推進協議会の設置

地域における家庭教育支援を推進し、家庭における教育力の向上を図ることを目的に、平成17年4月に「大垣市家庭教育推進協議会」を設置。

委員は、子育て支援団体等の代表者（12人）で構成し、次の事業を行う。

- ①行政や関係機関の関連事業の情報把握に基づく事業全体の企画・立案
- ②子育て支援団体、関係機関等の連携協力の推進
- ③子育て支援団体等相互の連携促進による活動の活性化や、効果的な活動事例などの情報交換
- ④子育てサークル、子育て講座、子育て支援団体の活動等に関する情報提供
- ⑤子育て理解促進のためのふれあい・交流機会の充実
- ⑥子育てや家庭教育に関する交流、学びの場の提供（「すてきな子育て出会いのフォーラム」の開催）

### (3) 事業の内容

#### ①子育てサポーター養成講座（全6回講座）

- 1) 目的 地域における子育てを広く支援する、子育てサポーターリーダーを養成する。
- 2) 内容 講座をとおして、今まで培ってきた子育て経験を活かし、スキルアップを図る。受講後、認定証を発行し、現地実習を紹介する。
- 3) 対象 子育て経験のある方、子育てに関わってみえる方
- 4) 場所 スイトピアセンター ほか
- 5) 開催状況

子育てサポーター養成講座	H18	H19	H20	H21
開催回数（回）	12	6	8	6
参加人数（人）	128	56	77	83

#### ②妊娠期子育て講座（全6回講座）

- 1) 目的 妊娠期における子育ての課題や悩みの解消を図る。
- 2) 内容 妊娠期の親に対して、親子のふれあいやしつけ、コミュニケーションのとり方など、保健センターの「もうすぐパパママ教室」に組み込んだ学習講座を開催する。
- 3) 対象 妊娠6～8か月の妊婦及びその家族
- 4) 場所 保健センター

5)開催状況

妊娠期子育て講座	H18	H19	H20	H21
開催回数 (回)	6	6	6	6
参加人数 (人)	225	287	238	257

③学童期子育て講座 (小学校 22校)

- 1)目的 学童期における子育ての課題や悩みの解消を図る。  
 2)内容 学童期の親に対して、親子のふれあいやしつけ、コミュニケーションのとり方など、各小学校で、就学時検診や入学説明会、授業参観日等、多くの親が集まる機会を活用して学習講座を開催する。

3)対象 小学生の保護者

4)場所 各小学校

5)開催状況

学童期子育て講座	H18	H19	H20	H21
開催回数 (回)	22	22	22	22
参加人数 (人)	1,658	1,534	1,591	1,453

④思春期子育て講座 (中学校 10校)

- 1)目的 思春期における子育ての課題や悩みの解消を図る。  
 2)内容 思春期の親に対して、親子のコミュニケーションのとり方など、各中学校で、入学説明会、授業参観日等、多くの親が集まる機会を活用して学習講座を開催する。

3)対象 中学生の保護者

4)場所 各中学校

5)開催状況

思春期子育て講座	H18	H19	H20	H21
開催回数 (回)	10	9	3	10
参加人数 (人)	470	818	150	501

⑤親子子育て講座の実施

- 1)目的 健やかな家庭教育を推進するため、親子のふれあい方を学ぶ場を提供し、家庭の教育力の向上を図る。

2)内容 家庭教育推進協議会に所属する団体の事業を教育委員会との共催事業として開催し、親子でふれあい、体験するための学習講座を提供する。

3)対象 幼児から中学生、その保護者

4)場所 スイトピアセンターほか

5)開催状況

親子子育て講座	H18	H19	H20	H21
開催回数 (回)	2	2	1	53
参加人数 (人)	314	165	118	1,722

⑥父親が参加する講座の実施

- 1) 目的 健やかな家庭教育を推進するため、親子のふれあい方を学ぶ場を提供し、家庭の教育力の向上を図る。
- 2) 内容 家庭教育推進協議会に所属する団体の事業を教育委員会との共催事業として開催し、父親の家庭教育への参加を促進するための学習講座を提供する。
- 3) 対象 幼児から中学生、その保護者
- 4) 場所 スイトピアセンターほか
- 5) 開催状況

父親が参加する講座	H18	H19	H20	H21
開催回数 (回)	15	26	28	27
参加人数 (人)	773	851	1,167	693

⑦中・高校生が参加する講座の実施

- 1) 目的 これから親となる中・高生に対して、学校、幼稚園、親子教室など様々な機会を活用し、子育ての楽しさ、生命や家族の大切さの理解を深める。
- 2) 内容 家庭教育推進協議会に所属する団体の事業を教育委員会との共催事業として開催し、専門家を招いた講演や、幼児・その親とのふれあい交流など、子育ての楽しさ、生命や家族の大切さを学ぶ場を提供する。
- 3) 対象 中学生、高校生
- 4) 場所 スイトピアセンターほか
- 5) 開催状況

中・高校生が参加する講座	H18	H19	H20	H21
開催回数 (回)	—	—	—	6
参加人数 (人)	—	—	—	152

### 3. 留守家庭児童教室の概要

#### (1) 留守家庭児童教室事業

- ①目的 放課後、家庭に代わる生活の場を確保し、適切な遊びや指導を行うことにより児童の健全育成や安全の確保を図るとともに、子育て家庭の保護者が安心して働くことのできる環境づくりに資する。
- ②内容 留守家庭児童の生活指導を行い、健全な遊びをとおして児童の社会性のかん養と体力の増進を図る。
- ③対象 大垣市立小学校に就学する第1学年から第4学年までの児童のうち、就労等により保護者等の保護が月15日以上欠ける家庭の児童
- ④日時 平常の月曜日から金曜日 放課後 ～ 18:00  
長期休業期間の月曜日から金曜日 9:00 ～ 18:00
- ⑤開設場所 上石津地域を除く18小学校
- ⑥入室状況

留守家庭児童教室	H18	H19	H20	H21
学校数 (校)	18	18	18	18
児童数 (人)	789	843	969	828

(各年5月1日現在)



#### 4. スイトピア子どもクラブ事業の概要

- (1) 目的 科学・工作・美術などの講座を設け、年間を通して活動して、地域や学校を超えた仲間作りを行い、ともに学ぶ事により、広く深い知識と経験を身につける。
- (2) 内容 科学工作、図工、化学実験、物づくり、料理、自然観察など
- (3) 対象 小学3年～6年生
- (4) 日時 第2・4土曜日にそれぞれ9回実施（発明クラブ2は年間13回活動）
- (5) 場所 大垣市スイトピアセンターほか
- (6) 開催状況

区 分	H18	H19	H20	H21
開催回数（回）	105	105	105	105
参加人数（人）	269	302	309	320

#### (7) 平成21年度受講者数

講 座 名	定員	H18	H19	H20	H21
発明クラブ1（3・4年）	40	30	34	44	46
発明クラブ2（5・6年）	30	25	31	28	29
造形クラブ1	30	32	40	28	33
造形クラブ2	30	30	38	20	25
科学クラブ3年	20	20	21	20	20
科学クラブ4年	20	20	20	20	21
科学クラブ5・6年	20	20	20	17	20
化学クラブ	20	15	20	25	18
電気・電子工作クラブ	30	14	16	27	30
自然クラブ	20	16	18	22	20
チャレンジクラブ	20	32	27	42	44
マイクロ探検クラブ	20	15	17	15	16
合 計	300	269	302	309	320

#### (8) その他

- ①発明クラブ1・2は、(社)発明協会大垣支部の支援により、夏季と秋季にバスによる研修旅行がある。
- ②電気・電子工作クラブは中部電力㈱大垣営業所の協力を得て、8月にバスによる研修旅行がある。
- ③化学クラブの最終回は、日本合成化学工業㈱の協力により、大垣工場の見学。

## 5. 大垣まるごと土曜学園事業の概要

完全学校週5日制にともない、学校休業日の地域活動として開催する講座、社会見学・奉仕活動及び放課後の読書活動に対して補助金を支給し、地域における大人と子どもの交流を図るとともに、地域の指導者の活用を推進する。

### (1) 地域活動指導者活用事業補助金

- ①目的 地域の指導者を発掘・育成・活用を推進するために、地域が開催する子どもを対象とした事業に対して補助金を支給し、地域の活性化と交流を図る。
- ②実施箇所 22地区（主に地区センター等を使用し、地区センター運営委員会等が運営、地域で活動する指導者を活用）
- ③内容 申請により、原則として1回2,500円×5講座×12か月＝150,000円を限度に補助金を支給
- ④各地区の事業内容（平成21年度実績）

（単位：回、人）

No.	団体名	講座名	回数	延参加者	期間	実施日
1	土日学園「Sトピア東」クラブ	初めてのお茶・お華	9	30	6～2月	予約のない土曜日
		トールペイント	9	85		
		マジック	9	72		
		手作りおもちゃ	9	68		
		料理教室	9	92		
		パソコン教室	9	49		
		日本舞踊	18	95		
		シュガークラフト	9	56		
		バスケットボール	18	96		
		バレーボール	18	93		
		バドミントン	9	60		
サッカー	18	101				
2	西地区センター運営委員会	切り絵教室	25	189	5～3月	予約のない土曜日
		囲碁教室	24	143		
		折り紙教室	25	211		
3	適塾みなみ推進委員会	料理教室	13	168	4～3月	予約のない土曜日
		マジック教室	13	44		
		エンジョイサークル	13	61		
		知識おもしろ教室	5	10		
4	北地区センター	—	—	—	—	
5	和合地区センター運営委員会	リトミック教室	36	2,160	4～3月	毎週土曜日
6	赤坂東地区センター運営委員会	料理教室	5	130	6～2月	第2・4土曜日
		押し花教室	5	28	5～2月	第2土曜日
		ソーラン教室	10	378	5～2月	第2・4土曜日
		ミュージックベル	23	148	5～3月	第2土曜日

(単位：回、人)

No.	団体名	講座名	回数	延参加者	期間	実施日
7	土曜くらぶやすい運営委員会	手品	43	89	5~2月	予約のない 土曜日
		オカリナ	12	107	5~12月	
		絵本作り	7	58	5~2月	
		花と遊ぼう	12	45	5~2月	
		盆手前	5	22	6~2月	
		将棋	3	208	5~2月	
		キッズ・フラ	19	273	5~2月	
		YOSAKOIソーラン	11	812	5~2月	
		百人一首	1	7	1月	
		科学の実験	1	20	1月	
8	サタデー宇留生運営委員会	俳句教室	4	30	5~2月	予約のない 土曜日
		科学工作低	3	67	8~3月	
		科学工作高	3	27	8~1月	
		英会話教室	3	75	6~12月	
		お花教室	10	226	5~2月	
		踊りアラカルト	6	160	5~1月	
		日本文化教室	4	60	6~3月	
		軽スポーツ	2	240	7・1月	
		歩け歩け	1	120	10月	
		お茶教室	10	188	6~3月	
9	三城地区センター運営委員会	料理教室	11	168	5~3月	第2土曜日
		囲碁教室	11	80		第3土曜日
		お茶教室	11	84		第4土曜日
		和太鼓教室	6	37	5~10月	第3土曜日
10	荒崎 LAND	ふれあいゲートボール	40	610	4~3月	第1土曜日
		ヘルシーウオーク	12	110	4~3月	第2土曜日
		スポーツ教室	5	96	9・10月	第3土曜日
		体力測定	1	29	11月	予約のない 土曜日
		もちつき大会	10	100	12月	土曜日
		キッズジャズダンス	12	80	4~8月	第2・4土曜日
		パプアクラブ	1	89	5~3月	第3土曜日
		凧づくり	2	79	12月	予約のない 土曜日
		グランドゴルフ	1	67	9月	土曜日
		ゲートボール大会	1	45	5月	
		プラバンづくり	1	61	5月	
		七夕まつり	1	54	7月	
		団子作り	1	31	9月	
		脳トレ	1	16	10月	
しめ縄・寄せ植え	1	52	12月			
車椅子体験コンサート	1	97	2月			

(単位：回、人)

No.	団体名	講座名	回数	延参加者	期間	実施日
11	日新地区センター運営委員会	お茶のおけいこ	9	99	6~2月	第1土曜日
		スポーツ&ゲーム	10	307	5~2月	第2土曜日
		生花	10	115	5~2月	第3土曜日
		手品	10	102	5~2月	第4土曜日
		夏休み囲碁教室	7	33	夏休み	土曜日
12	江東地区センター	—	—	—	—	
13	興文地区センター運営委員会	子ども茶道と作法	9	73	5~2月	第4土曜日
		子どもマジック	8	33	5~11月	第3土曜日
		子ども茶道と一輪いけ	4	21	夏休み	平日
		石のアート教室	2	17		
14	赤坂地区センター運営委員会	扇舞クラブ	22	123	5~3月	予約のない土曜日
		百人一首クラブ	11	64		
		習字クラブ	12	79		
		俳句クラブ	22	123		
		囲碁・将棋クラブ	13	89		
		紙芝居クラブ	13	53	5~2月	
		絵手紙クラブ	9	59	5~3月	
		生花クラブ	10	116	5~2月	
		ものづくりクラブ	19	186	5~3月	
15	綾里地区センター運営委員会	茶道クラブ	18	228	5~3月	第2・4土曜日
		竹・上細工クラブ	10	127		第3土曜日
		調理クラブ	11	250		第3土曜日
		ガラス工房クラブ	10	235		第3土曜日
		読み語りクラブ	15	160		第3土曜日
		マジッククラブ	14	150		第3土曜日
		囲碁クラブ	16	120		第3土曜日
16	川並土曜塾	ほなみ太鼓	27	462	4~3月	予約のない土曜日
		ゲートボール	26	140	4~3月	
		茶道教室	13	65	4~3月	
		俳句教室	6	34	5~2月	
		ふるさと探検	3	38	9・11・2月	
		親子料理	3	75	7・8・12月	
		綱引き大会	1	63	8月	
		消防体験	1	9	8月	
		科学で遊ぼう	1	29	5月	
		ゲーム大会	1	29	10月	
		凧作り教室	2	56	11・1月	
		お楽しみ会	1	33	12月	
		囲碁・将棋・落語	1	18	2月	
		リサイクル教室	1	20	10月	
スポーツ教室	1	17	1月			
合計			1,013	13,436		

## (2) 放課後週末読書等活動事業補助金

- ①目的 学校の放課後や週末を利用しての読み聞かせや読書活動に対して補助金を支給し、活読書活動の活性化を図る。
- ②実施箇所 22校区（主に学校図書室を利用し、PTAが指導する。）
- ③内容 申請により、1回2,500円×12か月＝30,000円を限度に支給
- ④各校区の事業内容
  - ・各小学校においてPTA会員による読み聞かせ等を全22校で年間12回実施した。

## (3) 地域企業体験奉仕活動推進事業補助金

- ①目的 各地域の子どもを対象に開催される企業見学・体験や奉仕活動等の学習活動に対して補助金を支給し、地域活動の活性化を図る。
- ②実施箇所 22地区（主に地区センター運営委員会等が運営し、地域の企業見学や地域での奉仕活動及び体験活動を行っている。）
- ③内容 申請により、年に1回50,000円を限度に支給（主に地区センター運営委員会等が実施）
- ④各地区の事業内容
  - ・地区センター運営委員会等を中心に運営されており、21年度は13校区で実施した。  
(確定日順)

	実施団体	内容
1	北地区センター運営委員会	海遊館見学と海遊館アカデミー「ジンベイザメコースを受講
2	南地区センター適塾みなみ推進委員会	岐阜県広域防災センター、河川環境楽園、内藤記念くすり博物館見学
3	川並土曜塾	ふるさと体験事業「昔のご馳走作り」
4	綾里地区センター運営委員会	杭瀬川スポーツ公園で光る泥だんご教室を開催し、地区センターまつりに出展
5	青墓どんぐりの森実行委員会	国立若狭湾青少年自然の家での磯観察と海釣り、ナイトウオッチング等
6	興文地区センター運営委員会	サイエンスワールド見学とワークショップ、化石博物館見学と化石採集
7	赤坂東地区センター運営委員会	上石津農業体験ツアー（トウモロコシの収穫、試食体験）
8	日新小学校PTA	樽見鉄道本巢機関区見学と陶芸体験
9	上石津もんでこ太鼓保存会	地域子ども活動発表会で演奏を披露
10	赤坂地区センター運営委員会	地域子ども活動発表会に参加し、日ごろの成果を発表
11	三城区センター運営委員会	地域子ども活動発表会に参加し、日ごろの成果を発表
12	土曜くらぶやすい運営委員会	おひなさま・子ども食育料理教室
13	比布美（南校区）	地域子ども活動発表会で体験講座を開催
14	和合地区センター運営委員会	地域子ども活動発表会でステージ発表と映像・パネル展示を実施

## 6. ウィークエンドファミリースクール事業の概要

### (1) 目的

週末を利用した自然体験講座を実施し、親子（幼児から中学生とその保護者）が触れ合う機会や子どもが自然と触れ合う機会を提供し、家庭教育力の向上を図る。

(2) 対象 小学生の子どもがいる親子（前・後期 各10組）

(3) 回数 前・後期 各6回（平成20年以前は各5回）

(4) 場所 上石津地域を中心に実施（野外活動）

### (5) 実施状況

	H18	H19	H20	H21
開催回数（回）	10回	10回	10回	12回
参加人数（人）	43人	47人	53人	53人

### (6) 実施内容

○前期 平成21年 6月20日 クワガタ採集と観察  
" 7月11日 アマゴつかみとカワゲラウォッチング  
" 8月22日 星空観察  
" 10月17日 草木染め体験  
" 11月21日 化石レプリカ作りと足跡化石見学  
" 12月19日 まゆクラフト

○後期 平成21年 9月 5日 トウモロコシ収穫体験  
" 10月 3日 星空観察  
" 11月 7日 化石レプリカ作りと足跡化石見学  
" 12月 5日 クリスマスリース作り  
平成22年 1月16日 野鳥観察  
" 2月 6日 クワガタの幼虫観察と飼育教室

## 7. 商い体験事業の概要

### (1) 目的

商いを通して、様々な仕事分担の中で、チームワークや商いの厳しさや楽しさを体験し、仲間や家族等の協力関係の大切さを学ぶ。

### (2) 内容

大垣まるごとバザール会場の協力店舗において、実際の接客や店舗運営を協力して行う。

(3) 日時 毎年11月行われる大垣まるごとバザールの日程(2日間)に合わせて実施。

(4) 対象 小学4年生～中学3年生

(5) 場所 大垣まるごとバザール会場内 (郭町金蝶園総本家・ミスベティー)

### (6) 開催状況

(延参加者数)

(単位：人)

	H18	H19	H20	H21
金蝶園総本家	41	36	29	21
ミスベティー	不実施	38	32	34
合計	41	74	61	55

### (7) 体験内容

- ①金蝶園総本家 ぜんざいの販売、給仕、下膳、洗い場等全般
- ②ミスベティー ワッフルの販売、在庫管理、売り上げ管理等

## 8. 子どもセンター事業の概要

### (1) 団体名

大垣市子どもセンター協議会

### (2) 設立目的

体験活動機会の情報や家庭教育の支援に関する情報を収集・提供する事業を行政と民間が協力して行い、子どもの地域における様々な体験活動を充実させ、家庭教育を支援する。

### (3) 主な活動内容

- ① 様々な関係機関や地域の方からの情報収集に関すること。
- ② 「この指とまれ」の企画・編集に関すること。
- ③ 指導者やボランティア団体の活動などの相談・紹介に関すること。

### (4) 協議会の開催

年2回開催する。(7月・3月)

### (5) 大垣市子どもセンター協議会の概要

会長	(大垣市社会教育委員の会議長)
1号委員	(学識経験者3名)
2号委員	(NPO、ボランティア団体関係者3名)
3号委員	(青少年、スポーツ団体関係者3名)
4号委員	(幼稚園、小中学校長会代表者2名)
5号委員	(PTA連合会代表1名)
6号委員	(市職員、教育委員会関係者3名)

### (6) 「この指とまれ」発行状況

「この指とまれ」	H18	H19	H20	H21
発行回数(回)	4	4	4	4
発行部数(部)	21,000	21,000	21,000	21,000

### (7) 配布先

配布先	部数
教育施設(保育園、幼保園、幼稚園、小学校、中学校)	19,000部
公共施設(文化施設、地区センター、福祉施設、福祉施設)	1,500部
その他(近隣市町村、関係機関、他市子どもセンター等)	500部

### (8) 掲載内容

- ① 子ども親子で参加できるイベントを中心に掲載。
- ② ボランティアスタッフが中心となり、情報収集や取材した内容を掲載。



## 9. 子ども会育成事業の概要

子ども会は自治会（地域）で組織され、保護者や育成者のもと異年齢の子どもが集まる団体であり、地域の連帯意識（社会性）を育て、学校外における様々な遊びを通じた子どもたちの健やかな成長を目的としている。一般的に、地域を基盤とした子ども会活動の活性化は青少年の健全育成のために有効とされており、地域の教育力向上を目指す上で重要な組織である。

大垣市では、青少年の健全育成を目指した市民運動として昭和41年4月に「明るい青少年都市」宣言したのに続き、各自治会で「子ども会」の組織化が始まり、現在454の単位子ども会が活動している。大垣市の子ども会活動は小中学生の手により行われており、保護者や育成者は育成会を組織し子どもの活動を支援している。

### (1) 大垣市子ども会育成連絡協議会

昭和41年8月に各小学校（17校区）の校区会長が集まり、大垣市子ども会育成連絡協議会が設立された。平成18年度に児童福祉会（旧大垣市独自）との統合や上石津町・墨俣町との合併により、22校区へ組織を拡大（児童福祉会は平成17年度解散・両町協議会は平成18年度解散）し、児童福祉会事業（ラジオ体操・たこあげ大会）を引き継いでいる。

- ①目的 市内子ども会の育成
- ②活動 子ども会活動の健全推進、子ども会育成指導者の研修、各校区子ども会育成連絡協議会との連絡調整、その他必要な連絡・協議
- ③事業 育成者中央研修会、子ども会まつり綱引大会、わいわいスクール、手づくりたこあげ大会など

### (2) 校区子ども会育成連絡協議会

各小学校区には校区子ども会育成連絡協議会が設立され、現在22の校区子ども会が活動している。

- ①目的 校区内子ども会の育成
- ②活動 子ども会活動の健全推進、各単位子ども会との連絡調整、主催事業の企画運営、その他必要な連絡・協議
- ③事業 綱引大会予選会、たこづくり講習会、球技大会、三世代のつどい、リーダー研修会、歩け歩け大会、デイキャンプ、福祉運動会など

### (3) 単位子ども会

各自治会には単位子ども会が設立され、現在454の単位子ども会が活動している。

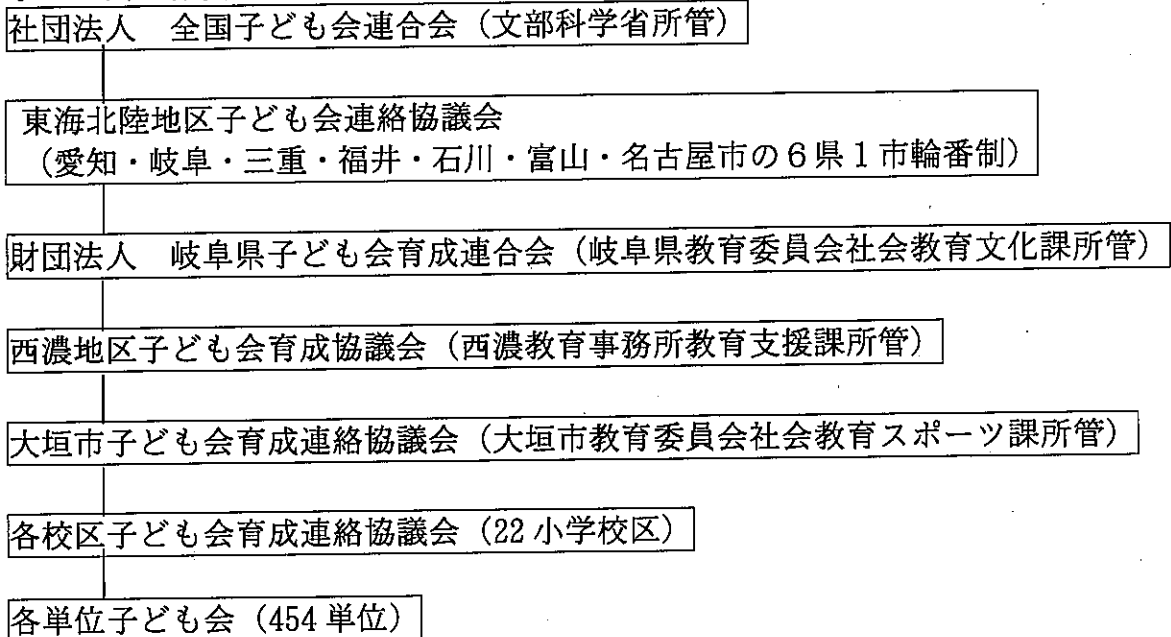
- ①目的 地域の子どもの健全育成
- ②活動 子ども会活動の健全推進、主催事業の企画運営、その他必要な連絡・協議
- ③事業 新入生歓迎会、地域まつり、資源回収、花壇づくり、ラジオ体操、クリスマス会、子ども会新聞づくり、卒業生を送る会など

### (4) 全国子ども会安全会

全国子ども会連合会が、子ども会活動中の事故の被害者に見舞金を給付するため、昭和47年に都道府県・指定都市子ども会連合会との委託契約により、会員相互扶助の精神に基づく子ども会安全会（共済見舞金）制度を設置した。保険業法の改正に伴う制度改革により、平成19年度に安全会会費が一人年額50円から120円に改正された。

- ①目的 安全教育（学習）の普及とともに万一の事故に備えた保障の提供  
 ②事業 子ども会活動中に発生した負傷・疾病・後遺障害または死亡に対して見舞金を支給（保険医療費総額の50%、限度額600万円）

(5) 子ども会の概要



(6) 大垣市子ども会の組織

（平成22年4月1日現在）

学校数	小学校22校、中学校10校
単位子ども会数	454団体（各自治会ごとに組織）
JLC団体数	1団体（大垣ジュニアリーダーズクラブ）
SLC団体数	1団体（大垣市シニアリーダーズクラブ）

	児童・生徒数	子ども会加入数	加入率
小学生	9,536人	9,255人	97%
中学生（内JLC）	4,517人	4,386人(11)	97%
高校生（JLC）		11人	
合計	14,053人	13,652人	

SLC（シニアリーダー）	10人
育成者	3,399人

(7) 補助金交付額（円）

（単位：円）

年度	H18	H19	H20	H21
市子ども会育成連絡協議会	1,600,000	1,600,000	1,345,000	1,820,000
上石津町・墨俣町子ども会	600,000	—	—	—
校区子ども会育成連絡協議会	1,106,000	1,371,000	1,871,000	2,018,000
単位子ども会	2,242,400	2,288,320	—	—
全国子ども会安全会	536,850	—	2,023,680	2,127,720
合計	6,085,250	5,259,320	5,239,680	5,965,720

## 10. 子ども会リーダースクール事業の概要

子ども会リーダースクールは、子ども会内部の上級生（インリーダー）を養成するため、「タレントスクール（対象：小6～中2）」の名称で昭和41年8月に始まった青少年を対象とした宿泊研修会であり、「大垣市青年の家」で開催している。同年10月に設立された大垣市子ども会育成連絡協議会の各校区長が単位子ども会からリーダー生（参加者）を集め、スクールを終了したリーダー生がジュニアリーダー（アウトリーダー）になることで次世代のリーダー育成を図っている。また、技術を習得したリーダー生がそれぞれの単位子ども会に戻り活動を広めることで、地域子ども会の活性化も図っている。

中学生の学業・部活動等への影響緩和のため、昭和59年からは学年を1学年繰り下げ（対象：小5～中1）、また、参加者が3年間継続して受講しやすいよう、小学5年生を秋に、小学6年生を夏に、中学1年生を春に開催している。平成15年には、芸能人（タレント）養成所と誤解されないよう、名称を「子ども会リーダースクール」に改めている。

また、子ども会活動のお兄さん・お姉さんの存在として社会奉仕活動を行なう大垣ジュニアリーダーズクラブが、日頃のボランティア活動や研修活動の成果を発揮する場としてスクールを企画・運営しており、クラブとして最も力を注ぐ事業である。

### (1) 春季子ども会リーダースクール

- ①目的 子ども会活動を支援するジュニアリーダーとなる力を身につける。
- ②内容 安全教育の講座・実習、野外活動技術（飯盒炊さん）の習得、レクリエーション など
- ③対象 中学1年生
- ④日時 4月下旬の土日（1泊2日）
- ⑤場所 大垣市青年の家

### (2) 夏季子ども会リーダースクール

- ①目的 レクリエーションを学び、子ども会活動のインリーダーとなる力を身につける。
- ②内容 夏あそび、キャンプファイヤー、創作活動、レクリエーション など
- ③対象 小学6年生
- ④日時 8月下旬の土日（1泊2日）
- ⑤場所 大垣市青年の家

### (3) 秋季子ども会リーダースクール

- ①目的 宿泊体験や集団生活を通じて、仲間とともに活動する大切さを学ぶ。
- ②内容 秋まつり、キャンドルセレモニー、創作活動、レクリエーション など
- ③対象 小学5年生
- ④日時 10月下旬の土日（1泊2日）
- ⑤場所 大垣市青年の家

### (4) 各季子ども会リーダースクール参加人数

(単位：人)

年度	H18	H19	H20	H21
春季	57	39	29	20
夏季	94	56	29	25
秋季	65	27	39	37
合計	216	122	97	82

## 11. 少年リーダー育成事業の概要

少年リーダー育成事業は、青少年に対しボランティアなどの社会奉仕体験活動、自然体験などさまざまな体験活動の機会を提供するために行う。具体的には大垣ジュニアリーダーズクラブへの活動支援及び青少年の健全育成を推進する少年団体への補助金支援である。

大垣ジュニアリーダーズクラブは、昭和41年8月、青少年リーダー養成のために企画された「タレントスクール（現：子ども会リーダースクール）」の研修修了者の中で、奉仕活動に関心を持つ高校生有志数名で結成されたのが始まりで、子ども会を中心に地域活動を行う大垣市内在住の中高生で組織するボランティア団体である。現在中学生11人、高校生11人の合計22人が活動している。青少年の健全育成を目指した市民運動として、昭和41年4月に大垣市が「明るい青少年都市」宣言したのに呼応して設立された大垣市子ども会育成連絡協議会と連携しながら、「大垣市青年の家」を活動拠点に子ども会活動発展のため、40年以上にわたり社会奉仕活動を続けている。

一般的に、地域を基盤とした子ども会活動の活性化は青少年の健全育成のために有効とされており、その活動に際しては、子ども会内部の上級生リーダー（インリーダー）と、外部のジュニアリーダー・シニアリーダー（アウトリーダー）などの良きリーダーの存在が重要となる。アウトリーダーの中でもジュニアリーダーは子ども会所属の児童と年齢が近く、子どもたちにとって親しみやすい存在である。

### (1) 野外活動研修会

- ①目的 野外活動での知識、技術を習得する。
- ②内容 野外活動（テント設営、キャンプファイヤー、飯盒炊さん）・レクリエーション・自然観察など
- ③対象 大垣ジュニアリーダーズクラブ会員・上石津VYS会員
- ④日時 6月下旬の土日（1泊2日）
- ⑤場所 かみいしづ緑の村公園バンガロー村

### (2) 少年指導者養成研修会

- ①目的 少年指導者としての技術を習得する。
- ②内容 レクリエーション指導法（ゲーム指導、ネイチャーゲーム、グループワークトレーニング、創作活動）など
- ③対象 大垣ジュニアリーダーズクラブ会員・上石津VYS会員
- ④日時 3月下旬の土日（1泊2日）
- ⑤場所 かみいしづ緑の村公園・大垣市山村体験宿泊施設奥養老

### (3) 研修会参加人数（人）

（単位：人）

年度	H18	H19	H20	H21
野外活動研修会	46	47	16	中止
少年指導者養成研修会	39	20	18	12
合計	85	67	34	12

(4) 少年団体への団体運営補助金交付金額

(単位：円)

年度	H18	H19	H20	H21
大垣ジュニアリーダーズクラブ	180,000	180,000	180,000	180,000
ボーイスカウト大垣市連絡協議会	115,000	115,000	115,000	115,000
ガールスカウト日本連盟岐阜県第7団	48,000	48,000	48,000	48,000
上石津VYS	70,000	80,000	80,000	80,000
合計	413,000	423,000	423,000	423,000

ボーイスカウトは、世界スカウト機構憲章に基づき、日本におけるボーイスカウト運動を普及し、その運動を通じて青少年の優れた人格を形成し、かつ国際友愛精神の増進を図り、青少年の健全育成に寄与することを使命としており、日本では、昭和10年に設立された財団法人ボーイスカウト日本連盟を筆頭として都道府県ごとに連盟が存在する。岐阜県連盟は8地域に分かれ大垣市には3団が登録されており、現在団員109人、指導者78人の合計187人が活動している。活動の基本原則は「ちかい」と「おきて」である。人種・国籍・宗教の差別なく、健全かつ幸福で社会に貢献する男性の育成を目的とする。主な活動内容☞緑の羽根募金、ハイキング、キャンプ、ジャンボリー、ユニセフ募金、雪中キャンプ、登山、市行事への参加協力（少年団体交歓大会、女子駅伝応援など）。

ガールスカウトは、少女と若い女性が自分自身と他の人々の幸福と平和のために責任ある市民として、自ら考え、行動できる人となれるようにすることを使命としており、日本では、昭和27年に設立された社団法人ガールスカウト日本連盟を筆頭として都道府県ごとに支部が存在する。岐阜県支部には11団があり大垣市には岐阜県第7団が登録されており、現在団員9人、指導者4人の合計13人が活動している。活動の基本原則は「やくそく」と「おきて」である。人種・国籍・宗教の差別なく、健全かつ幸福で社会に貢献する女性の育成を目的とする。主な活動内容☞緑の羽根募金、ハイキング、キャンプ、ユニセフ募金、市行事への参加協力（水源地見学、下水道フェア、少年団体交歓大会、女子駅伝応援など）。

VYSとは、Voluntary Youth Social worker（有志青年社会事業家）のことをいい、上石津VYSは、現在中学生47人、高校生9人の合計56人が活動している。加入のきっかけはさまざまであるが、活動に取り組む中で「奉仕を自分の喜び」ととらえる心が育っている。地域での活動に喜びを感じ始めた青少年を地域で支え地域で育てる体制を確立し、青少年の健全育成を図っている。主な活動内容☞保育園訪問、ディサービスセンターへの訪問、ジュニアリーダーとの交流、町産業祭などへのスタッフ参加。

## 12. 「少年の船」派遣事業の概要

江戸時代の薩摩義士による木曾三川の治水工事が取り持つ縁で、大垣青年クラブが1963年以来薩摩義士の顕彰事業や中学生の交換交流を行うなど親密な関係にある大垣市と鹿児島市は、市制70周年を記念して始まったフレンドリーシティ（官民一体の都市間交流）の関係にある。

こうした経緯を踏まえ、鹿児島市との少年交流事業として、海とのかかわりが少ない大垣市の少年に洋上を中心とした集団生活や自然体験を経験させることで青少年の健全育成を推進するため、平成7年に実行委員会を立ち上げ事業を開始している。これまでに、600名の派遣団員が本事業に参加し、鹿児島市との友好関係の構築に貢献している。

平成22年度で16回目の事業実施となる。

### (1) 事業名

「大垣市少年の船」派遣事業

### (2) 目的

- ①海とのかかわりが少ない大垣市の少年に、洋上を中心とした集団生活を体験させる。
- ②木曾三川分流工事で偉業を成し遂げた薩摩義士について学ぶ。
- ③鹿児島市の少年と交流することで、互いの親睦を深め友好の精神を養う。

### (3) 主な事業内容

- ①結団式・保護者説明会・研修会 7月の第1土曜日（日帰り）
  - 1) 結団式…派遣へ向け団結
  - 2) 保護者説明会…事業概要の説明
  - 3) 日帰り研修会…研修目的の理解、仲間づくり、役割分担、交流会発表の調べ
- ②宿泊研修会 7月の第3土日（1泊2日）
  - 1) 集団生活・団体行動の訓練
  - 2) 交流会発表の資料作成及び発表の練習
- ③本研修（3泊4日） 7月の第4日曜日出発
  - 1) 関西電力発電所見学、洋上研修（クルー講話、救命胴衣訓練、ブリッジ見学）
  - 2) 少年自然の家研修（野外体験活動「アスレチック」、天体観測 など）  
～歴史学習や野外体験活動などを通して、鹿児島市の少年と交流～
  - 3) 桜島見学（有村展望所、黒神埋没鳥居 など）
  - 4) 鹿児島市内見学（薩摩義士碑、平田公園、城山公園、かごしま水族館 など）
- ④事後研修会・解団式 8月の第4土曜日（日帰り）
  - 1) 事後研修会…本研修で学んだことのまとめ、研修紀行作文集を作成
  - 2) 解団式…本研修の成果を発表

### (4) 対象

市内在住の小学校6年生40名

（学校推薦：スポーツ少年団・子ども会・学校生活等で活躍し、心身ともに健康な者）

### (5) 実行委員会の開催

年2回開催する。（4月・10月）

(6) 派遣団員及び指導者の参加人数

(単位：人)

年度	H18	H19	H20	H21
団員	40	40	40	40
指導者	9	9	9	9
合計	49	49	49	49

(7) 実行委員会への事業補助金交付金額

(単位：人)

年度	H18	H19	H20	H21
実行委員会	1,930,000	1,930,000	2,028,000	2,150,000

### 13. 青少年憩の森管理事業の概要

市制 60 周年記念事業として、昭和 53 年に青墓町地内の山麓に青少年憩の森遊歩道の整備を開始した。昭和 54 年に青少年憩の森遊歩道をオープン（朝長ルート延長 1,610m、円興寺ルート 555m）し、遊歩道の整備のほか、付近一帯の史跡や自然をそのままに生かしながら、展望台、休憩所、トイレ、駐車場などの施設を整備した。

澄んだ空気とあふれる緑のなかで、史跡めぐりを楽しむことができる。また、湿原地帯、薬草の群生地もあり、源朝長の墓、炭焼窯跡、円興寺跡などをめぐることができる。

#### (1) 青少年憩の森管理

①内 容 遊歩道・展望台等の巡視・通報、草刈り・枝打ち、紙くず・ビン・カン類の処理等

②委託先 青墓町（1区）自治会

③管理委託金

（単位：円）

年度	H18	H19	H20	H21
管理委託料	700,000	700,000	700,000	700,000

#### (2) 土地借上料

①内 容 昭和 53 年の「青少年憩の森」建設に伴う協議録に基づき、3 年ごとに協議書を交わし、所有者に支払う。

1) 賃借料…3.3 m<sup>2</sup>（1 坪）あたり、年間 129 円

（固定資産評価額 22.11 円/m<sup>2</sup> × 3.3 m<sup>2</sup>（1 坪） ÷ 69 円 + 借地料 60 円 = 129 円）

2) 周辺保守料…1 世帯あたり 1,000 円（年間）

3) 賃借料の更新については、固定資産評価額を基準とする。

②支払先 所有者 32 人（46 筆）借上地積 6245.77 m<sup>2</sup>

③支払額

（単位：円）

年度	H18	H19	H20	H21
土地借上料	241,186	241,186	241,186	242,186

#### (3) 山林補償

①内 容 昭和 53 年の「青少年憩の森」建設に伴う協議録に基づき、青墓町（1区）自治会（青墓町山林組合）に定額を支払う。

②支払先 青墓町（1区）自治会

③支払額

（単位：円）

年度	H18	H19	H20	H21
山林補償料	150,000	150,000	150,000	150,000



## 14. 大垣市山村体験宿泊施設奥養老の概要

「大垣市山村体験宿泊施設奥養老」は、昭和 56 年に旧上石津町が国土庁から「山村地域若者定住環境整備モデル事業」の指定を受け、大垣市が昭和 58 年 6 月に宿泊棟を、昭和 62 年 12 月にセミナーハウスを上石津町の「緑の村公園」内に建設した。

この施設は、市民の心のやすらぎの場所として山村の豊かな美しい自然を提供するとともに、市民がそれを利用することによって、山村の生活の中に糧をもたらすという役割を分担し、お互いに助け合うという基本構想のもとに、これまで多くの方々が利用している。

平成18年度より指定管理者制度の導入により、施設の管理運営を「社団法人 かみいしづ緑の村公社」に委託している。

### (1) 施設の概要

- |        |   |   |
|--------|---|---|
| ①所在地   | 大垣市上石津町上多良前ヶ瀬入会1番地1                                   | TEL 45-2287   |
| ②構造    | 宿泊棟   | 鉄筋コンクリート造2階建  |
|        | セミナーハウス   | 鉄筋コンクリート造3階建  |
| ③延面積   | 宿泊棟   | 1,077.11㎡   |
|        | セミナーハウス   | 647.81㎡ (渡り廊下 41.01㎡含む)   |
| ④総工費   | 宿泊棟   | 222,600千円   |
|        | セミナーハウス   | 128,700千円   |
| ⑤完成年月日 | 宿泊棟   | 昭和58年 6月30日   |
|        | セミナーハウス   | 昭和62年12月15日   |
| ⑥建物内容  | 宿泊棟   | 宿泊室 (10)、浴室 (2)、食堂、喫茶、研修室、<br>談話室、セミナーハウス、和室 (3)、セミナー<br>ホール、研修室、浴室 |
| ⑦収容人員  | 77名   |   |
| ⑧利用開始  | 昭和58年7月15日  |   |
| ・利用申込  | 大垣市民は6か月前から   |   |
| ・宿泊料等  | (3人以上で利用の場合) …大人1人1,720円 (消費税込)<br>食事4,200円 (消費税込) から |   |
| ⑨ 休館日  | 年末・年始 (12月29日～1月3日)                                   |   |

## (2) 利用状況

(単位：人)

奥養老		H18	H19	H20	H21
宿 泊 ( A )	大 人	2,388	3,120	2,020	2,148
	小 人	643	785	588	962
宿 泊 ( B )	大 人	767	976	785	911
	小 人	367	312	289	292
休 憩 ( A )	大 人	2,450	1,964	1,833	1,114
	小 人	42	77	51	1
休 憩 ( B )	大 人	301	234	188	292
	小 人	9	33	0	178
研 修	A	3,391	4,523	3,278	2,657
	B	735	358	526	389
計		11,093	12,382	9,558	8,944

※ (A) 大垣市民・旧上石津町民が利用 (B) その他の市町村民が利用

## 15. 青年の家の概要

### (1) 基本方針

市内の青少年の心身の健全な育成を図り、あわせて社会教育全般にわたる振興を図る。

- 各種青年団体の自主的活動の活発化と指導者の養成を図る。
- 青年の各種サークルの振興を図る。
- 子どもの健全育成とジュニアリーダーの指導者養成を図る。
- 他の青年団体との交歓会を開き研修を密にする。

### (2) 施設の概要

- ①所在地 大垣市見取町1丁目13番地1 TEL 78-9308
- ②構造 鉄筋コンクリート造（一部鉄骨造）2階建
- ③延面積 1,988m<sup>2</sup>
- ④完成年月日 昭和39年10月31日全面改修 平成10年10月
- ⑤建物内容 本館1階 講堂、工作室、料理教室、食堂、事務室、第1・第2・3活動室、宿直室  
本館2階 第1・第2教室、小会議室、礼法室、第1・第2宿泊室、講師宿泊室、ラウンジ、ふとん倉庫  
研修棟1階 研修室、和室  
研修棟2階 第4・第5・第6活動室
- ⑥休館日 毎週火曜日、国民の祝日の翌日（その日が日曜日又は火曜日に当たるときは、その翌日とし、その日が月曜日又は土曜日に当たるときは、その翌々日）、年末年始（12月29日～1月3日）
- ⑦委託管理 管理運営に関する事務を、NPO法人大垣市レクリエーション協会に委託している。（平成19年度～）

### (3) 利用状況

(単位：人)

	H18	H19	H20	H21
会館利用者数	79,008	122,122	134,810	128,506
宿泊利用者数	1,756	1,926	1,800	1,903

## 16. 少年支援員事業の概要

### (1) 目的

「あそび・非行型」「無気力型（怠学）」などの不登校児童生徒や19歳までの少年及び保護者を対象に、大垣市少年支援員を中心に、街頭補導や学校訪問、家庭訪問、校区パトロールなど、青少年の健全育成のための活動を展開し、生活改善や再登校ができるよう支援する。

※ H22年度より「大垣市少年補導委員」から「大垣市少年支援員」へ名称を変更。  
(理由) 今までの街頭補導の業務だけでなく、地域での子どもたちや保護者等への声かけや学校支援等の業務内容を加え、少年への支援を強調するため。

### (2) 支援の対象

不登校児童生徒や19歳までの少年及び保護者

### (3) 少年支援員の構成

- ①各小中学校32校の生徒指導主事の先生方（32名）
- ②各小中学校32校のPTA校外指導委員等の役員の方から1名選出（32名）
- ③市内に26ある各連合自治会の中で、青少年の健全育成に関わっていただいている方から、地域の実情に応じて2～3名ほど、各連合自治会長様より推薦していただいた方（各連合自治会で上限は、5名まで）
- ④教育総合研究所より少年支援係職員及び警察補導員4名、主幹教諭2名等
- ⑤合計122名～204名体制で活動を実施

※ 各連合自治会等で青少年の健全育成・安心安全なまちづくりのために連携して活動している各種団体

- ・ 明るい青少年都市市民会議、青少年育成推進員会⇒地域のおじさん・おばさん運動
- ・ 市生活安全課⇒さわやかみまもりアイ
- ・ 大垣警察署⇒セーフティチーム大垣、地域安全ボランティア
- ・ 連合自治会独自のパトロール

### (4) 活動内容

#### ①市内のイベントやまつりの補導

- ・ 大垣まつり、水まつり、十万石まつり、西濃まるごとバザール、天王祭、もんでこ上石津などの街頭補導

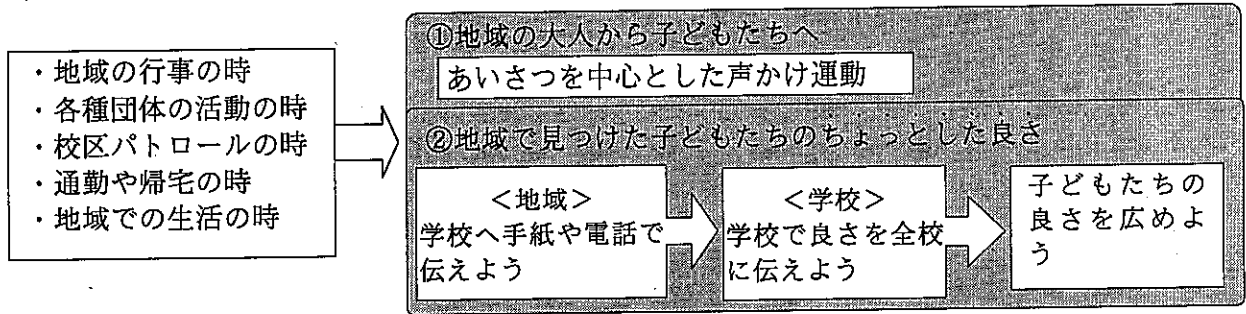
#### ②校区パトロール

- ・ 地域選出の少年支援員が中核となり、具体的な運営や他の組織と連携して、夏休みや冬休み、年度末年度初めの休業日、4月～5月の連休、夜間などに、校区のコンビニや公園、店舗などのパトロールを実施する。（年間8回程度実施）  
（地域の各種団体と連絡調整し、連動してパトロールを実施する校区もある。）

#### ③地域環境浄化活動

- ・ 声かけ運動、認め励まし運動、通学路の安全点検など
- ・ 子どもの良さを様々な角度から見取り、認め、価値づけることを地域全員で実施

## 1) 地域環境浄化活動の働きかけ



## 2) 通学路の安全点検

- ・通学路や危険箇所、問題箇所などの点検や情報交流
- ・PTAや自治会、警察等と相談し、改善への働きかけ

## ④地域の青少年に関わる情報交流会

- ・各小中学校校区等で子どもたちのよさや改善していくとよい点など、地域選出の少年支援員やPTA選出の少年支援員が学校と連携を図りながら、互いに情報交流する。
- ・情報交流の具体的内容は、次の1)～2)の内容を交流し、学校支援の強化を図る。

1) 地域の良さと改善点の情報交流(地域行事、危険な遊び場所、ボランティアなどの情報)

2) 学校からの協力要請(学校行事、PTA行事、登下校の様子などの情報)

3) 子どもの生活や家庭環境にかかわる情報交流(不登校、虐待などの情報)

不登校(心的な要因・あそび非行)の子どもやその保護者への支援の強化を目指し、「マイスクール支援ネット」を構築し、次の4)、5)の内容を交流。

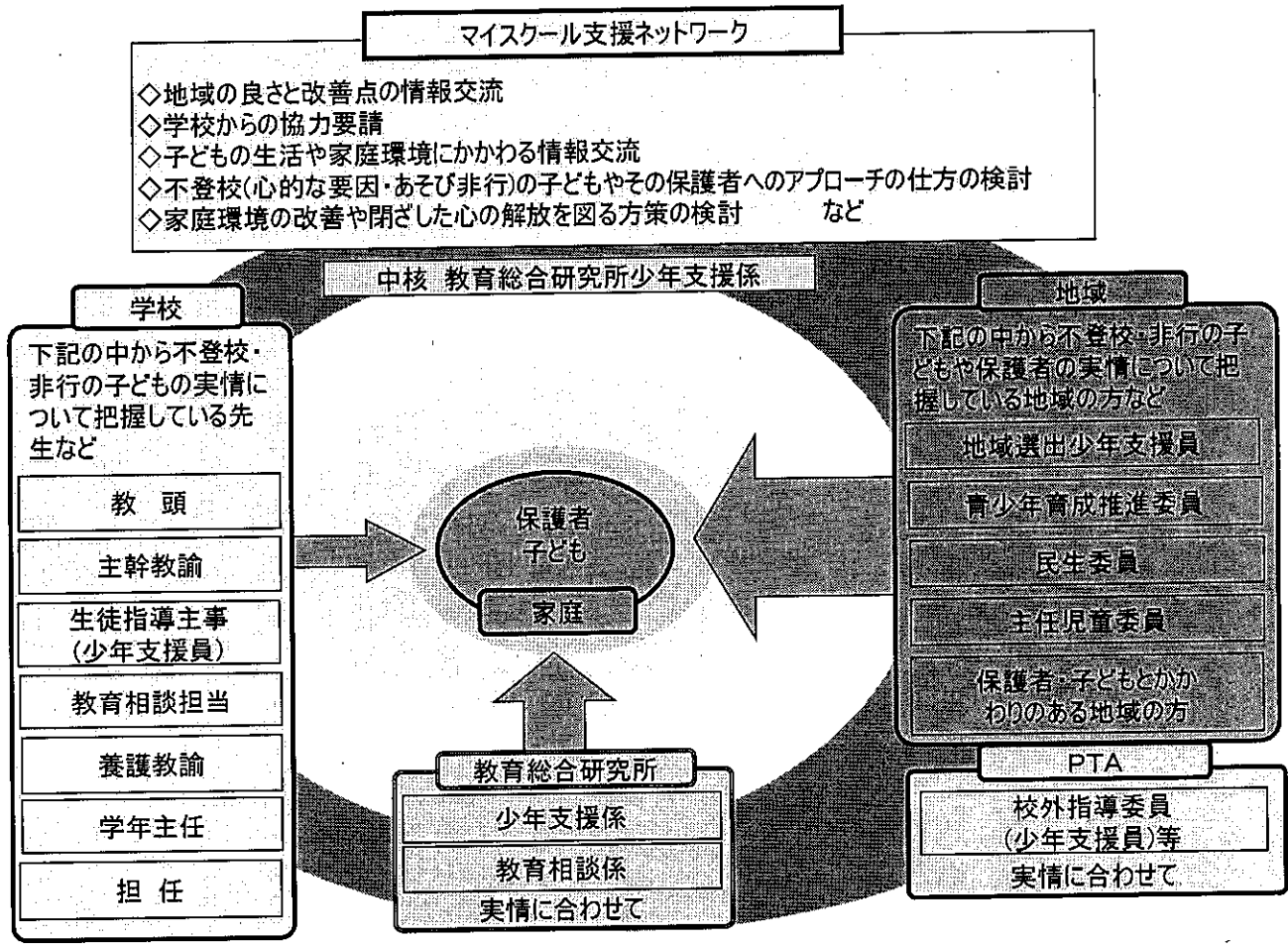
4) 不登校(心的な要因・あそび非行)の子どもやその保護者へのアプローチの仕方の検討

5) 家庭環境の改善や閉ざした心の解放を図る方策の検討

※ 地域の青少年にかかわる情報交流は、随時学校と地域及びPTA選出の少年支援員とが連絡を取り合い、実施。

※ 「マイスクール支援ネット」を活用した情報交流を実施する場合は、教育総合研究所少年支援係が中核となり、随時必要に応じて学校を支援していくための交流会を設定。

※ マイスクール支援ネットとは  
不登校(心的な要因・あそび非行)の子どもやその保護者に対して、学校や地域、PTA、教育総合研究所が連携し、支援を強化していくためのネットワーク。



(5) 街頭補導啓発実施の状況

(H22.3.31現在)

街頭補導	H18	H19	H20	H21
実施回数(回)	580	574	574	180

※ 平成21年度から少年補導センターと教育研究所が統合し教育総合研究所となり、街頭補導から必要とされている校区パトロール、少年支援への取組に重点を置いたため、H21は街頭補導実施件数が他年と比較し少ない。

## 17. 青少年育成推進員事業の概要

### (1) 団体名

大垣市青少年育成推進員会

### (2) 目的

本会は、市内の各校区青少年育成推進会の連絡提携を密にし、青少年の健全育成に寄与することを目的とする。

### (3) 活動内容

- ①地域社会をあげて青少年の健全育成を推進する気風の醸成
- ②健全な青少年団体及びグループ活動の育成とすべての青少年がこれに参加することを奨励するための活動
- ③勤労青少年の教育・福祉対策をすすめ、その生活条件を改善するための活動
- ④青少年のための施設の効果的な利用を図るための活動
- ⑤家庭を健全にするための活動
- ⑥家庭教育・学校教育・職場教育等の連携を緊密にするための活動
- ⑦青少年の非行防止を図るための活動
- ⑧社会環境の浄化を図るための活動
- ⑨その他市民会議の目的を達成するための活動

### (4) 青少年育成推進員について

#### ①任務

青少年育成推進員は、大垣市明るい青少年都市市民会議その他の関係団体及び地域住民と密接な連携を保って、青少年健全育成活動の普及徹底を図るとともに、地域の実態に即した実践活動が展開されるよう指導助言し、地域における青少年育成推進活動の中心的役割を果たす。

#### ②任命基準

- 1) 地域の実情に精通し、青少年の健全育成に熱意を有すること。
- 2) 健康で活動力を有し、指導者としての能力を有すること。

### (6) 校区青少年育成推進会会長の選出

地域（校区）における青少年育成推進員の中から 1 名を校区青少年育成推進会会長として選出する。

大垣市青少年育成推進員として教育委員会が委嘱し、任期は 2 年で再選を妨げない。

### (7) 青少年育成推進員の指導の対象

単位自治会における青少年育成推進員として、地域の青少年及び青少年育成団体関係者、地域住民など、青少年に関わるすべての人々に対して青少年育成推進活動の中心的役割を果たす。

### (8) 具体的な活動・主な事業

- ①年7回の会議
- ②青少年育成リーフレット作成及び啓発
- ③「地域のおじさん・おばさん運動」の推進
- ④水まつり視察
- ⑤西濃地区青少年育成関係者圏域研修会
- ⑥明るい青少年都市市民会議事業への協力

⑦ 明るい青少年都市市民会議の支部（校区）専務理事としての活動

(9) 青少年育成推進員への財政的支援

大垣市から大垣市青少年育成推進員会へ

140,000円

運営補助金を受けている。

大垣市から各校区青少年育成推進員会へ

40,000円×22支部＝880,000円

運営補助金を受けている。

(10) 各校区青少年育成推進員会における主な活動

① ブロック研修会

年1回支部（小学校区）ごとに青少年健全育成のための研修会を開催し、青少年育成関係者の資質向上を図っている。

② 「家庭の日推進」全市一斉ふれあいクリーン活動

年2回（5月と10月の第3日曜日）、親子が一緒になって活動することを目的として、支部（小学校区）ごとに清掃活動を行っている。

③ 地域のおじさん・おばさん運動（環境浄化）

「地域の子どもは、地域で守り育てる」を合言葉に大人が子どもたち一人ひとりを温かく見守りながら、ときに励ましときに注意や助言をすることにより、地域の連帯感と教育力を高めていくことをねらいとした、「大人が変われば、子どもも変わる国民運動」の一環で、大垣市では各校区で登録・活動の推進を行っている。

※ 詳細は、明るい青少年都市市民会議事業の概要を参照。

④ 校区パトロール（非行防止）

校区の実情に合わせて、休日や夏休み等に昼・夜間パトロールを行い、声かけ等非行防止を図っている。

⑤ 違反広告バスターズ

校区の青少年育成推進員等と協力して違反広告物除却協力活動を実施している。

⑥ 青少年健全育成に係る啓発看板の設置

青少年健全育成に係る看板を設置し、青少年健全育成を啓発している。

⑦ 青少年健全育成に係る啓発カレンダーの作成

校区によっては青少年健全育成に係るカレンダーを作成し、青少年健全育成を啓発している。

⑧ 小学校区安全マップの作成

校区によっては、PTAや明るい青少年都市市民会議各支部と協力して安全マップを作成し、青少年健全育成・安全の確保を図っている。



## 18. 明るい青少年都市市民会議事業の概要

### (1) 団体名

大垣市明るい青少年都市市民会議

### (2) 目的

「明るい青少年の都市宣言」に基づき、青少年の健全育成を図るために必要な活動を行う。

### (3) 活動内容

- ①地域社会をあげて青少年の健全育成を推進する気風の醸成
- ②健全な青少年団体及びグループ活動の育成とすべての青少年がこれに参加することを奨励するための活動
- ③勤労青少年の教育・福祉対策をすすめ、その生活条件を改善するための活動
- ④青少年のための施設の効果的な利用を図るための活動
- ⑤家庭を健全にするための活動
- ⑥家庭教育・学校教育・職場教育等の連携を緊密にするための活動
- ⑦青少年の非行防止を図るための活動
- ⑧社会環境の浄化を図るための活動
- ⑨その他市民会議の目的を達成するための活動

### (4) 具体的な活動・主な事業

#### ①大垣市少年の主張大会

##### 1) 目的

少年が日ごろ実践していることや考えていることなどの発表を通じて、少年の意識等に対する市民の理解と関心を深め、少年の健全育成の推進を図るもの。

##### 2) 期 日 年1回(6月の第1土曜日)に開催。

##### 3) 場 所 墨俣さくら会館(H19以前は情報工房、スイトピアセンターでも開催)

##### 4) 出場者 小学生(6年生) 11人 中学生 6人又は5人

(2年間で市内全小中学校が発表できるようにしている。)

##### 5) 発表内容 家庭、学校生活、社会(地域活動)、身の回りや友達との関わりなど

#### ②大垣市明るい青少年都市市民会議大会

##### 1) 目的

青少年の健全育成及び社会環境浄化について、広く市民の理解を深めるとともに、家庭・学校・地域社会が一体となって、地域ぐるみの実践活動をより一層推進し、その定着を図るため、大垣市明るい青少年都市市民会議大会を開催する。

##### 2) 期 日 年1回(3月の第1日曜日)に開催。

##### 3) 場 所 スイトピアセンター

##### 4) 参加者 青少年育成推進員、各種青少年育成機関・団体、PTA、自治会、婦人会、学校関係者等

##### 5) 内 容 表彰、体験発表、実践発表、講演、大会宣言など

#### ③「大垣の青少年」の発行(年2回、7月・3月)

1) 7月15日号は大垣市少年の主張大会の内容で、明るい青少年都市市民会議各支部会  
員、主張大会発表者等に配布。

2) 3月15日号は各校区の青少年育成関係団体等の活動内容で、全戸配布。

④「家庭の日推進」全市一斉ふれあいクリーン活動（年2回）

年2回（5月と10月の第3日曜日）、親子が一緒になって活動することを目的として、支部（小学校区）ごとに清掃活動を行っている。

⑤「地域のおじさん・おばさん運動」の推進

地域の子どもたちに積極的に声かけをしておただける方の登録を明るい青少年都市市民会議の支部長、事務局長、青少年育成推進員等を通じて行っている。

(5) 大垣市明るい青少年都市市民会議の概要

社団法人 岐阜県青少年育成県民会議

大垣市明るい青少年都市市民会議

各校区市民会議 22 支部

支部長 （校区連合自治会長など）

事務局長 （小学校教頭）

専務理事 （校区青少年育成推進会長）

中学校教頭

大垣市連合自治会、大垣市社会福祉協議会、小中学校、保護司会、民生児童委員協議会、各青少年団体、子ども会、PTA、婦人会、各社会教育団体、その他関係団体

（沿革）

- ・昭和41年 4月 大垣市明るい青少年都市宣言
- ・昭和41年 5月 大垣市明るい青少年都市推進協議会を設立
- ・昭和58年12月 大垣市明るい青少年都市市民会議に改称、各小学校区に支部を設置

【明るい青少年の都市宣言】

青少年に大垣市の平和と発展を期待し、明るいあすを約束することは、市民の責任である。

本市は、学校教育の充実とともに、児童文化センターや青年の家を拠点とし、青少年の研修センターとして全力をあげてきた。ここで育った立派な青少年が、その生活の母体である子ども会や職域で真価を発揮するためには、全市民ならびに青少年育成の責を負う各団体が一体となって積極的に家族教育の改善、徹底、不健全な環境の除去、全子ども会への助言、指導をはからなければならない。

ここに、市制施行記念日にあたり、決意を新たにし、全市民の協力により、明るい青少年の都市とすることを宣言する。

昭和41年4月1日

大垣市長 山本庄一

(6) 大垣市明るい青少年都市市民会議各支部（小学校区）における主な活動

①ブロック研修会

年1回支部（小学校区）ごとに青少年健全育成のための研修会を開催し、青少年育成関係者の資質向上を図っている。

②「家庭の日推進」全市一斉ふれあいクリーン活動

年2回（5月と10月の第3日曜日）、親子が一緒になって活動することを目的として、支部（小学校区）ごとに清掃活動を行っている。

※ 基本的には「家庭の日推進」全市一斉ふれあいクリーン活動は、5月と10月の第3日曜日だが、実情に合わせて別の日に実施している地区もある。

※ 「家庭の日」とは

岐阜県では、昭和42年に「岐阜県家庭の日を定める条例」を定め、「家庭の日」の普及と実践に努めている。その第2条では、「毎月第3日曜日を家庭の日」と定めている。

【「家庭の日」を定める条例】

岐阜県家庭の日を定める条例をここに公布する。

岐阜県家庭の日を定める条例

（目的）

第1条 この条例は、明るく豊かな家庭づくりをすすめるため、家庭の日を定め、青少年の健全な育成を図ることを目的とする。

（家庭の日）

第2条 毎月第3日曜日を家庭の日と定める。

2 家庭の日には、家族みんなが話し合い、楽しみ合い、協力し合うように努めるものとする。

（県民の責務）

第3条 すべて県民は、それぞれの家庭が家庭の日を享有し得る環境をつくるように協力するものとする。

（県の責務）

第4条 県は、市町村と協力して、家庭の日の趣旨にふさわしい事業を実施するように努めるものとする。

付則

この条例は、昭和42年4月1日から施行する。

③地域のおじさん・おばさん運動（環境浄化）

1)運動のねらい

「地域の子どもは、地域で守り育てる」を合言葉に大人が子どもたち一人ひとりを温かく見守りながら、ときに励ましときに注意や助言をすることにより、地域の連帯感と教育力を高めていくことをねらいとした、「大人が変われば、子どもも変わる国民運動」の一環である。

## 2)運動の推進者

子どもの健やかな成長を真に願っている方。(校区の青少年育成推進員や明るい青少年都市市民会議各支部の事務局長(各小学校の教頭)等を通じて申請することにより、名札等が交付され、運動の推進者となる。)

## 3)活動内容

- 地域の子どもたちに積極的に声かけをする、など
- ・子どもたちに「おはよう」、「おかえり」など、やさしく声をかけ、顔見知りになる。
  - ・よい行いをしたときは、ためらわずほめる。
  - ・よくない行為を目にしたときは、やみくもに叱らず、相手に愛情が伝わるような声かけをする。

## 4)「地域のおじさん・おばさん運動」会員登録の状況 (H22.3.31現在)

地域のおじさん・おばさん	H18	H19	H20	H21
登録人数(人)	1,312	1,957	3,006	3,268

【参考】	岐阜市	3,536人	高山市	3,199人	郡上市	1,744人
	羽島市	1,311人	恵那市	1,308人	中津川市	1,124人
	関市	1,105人	各務原市	1,055人	美濃市	1,040人

## ④校区パトロール(非行防止)

校区の実情に合わせて、休日や夏休み等に昼・夜間パトロールを行い、声かけ等非行防止を図っている。

## ⑤違反広告バスターズ

校区の青少年育成推進員等と協力して違反広告物除却協力活動を実施している。

## ⑥青少年健全育成に係る啓発看板の設置

青少年健全育成に係る看板を設置し、青少年健全育成を啓発している。

## ⑦青少年健全育成に係る啓発カレンダーの作成

校区によっては青少年健全育成に係るカレンダーを作成し、青少年健全育成を啓発している。

## ⑧小学校区安全マップの作成

校区によっては、PTAや校区青少年育成推進員会と協力して小学校区安全マップを作成し、青少年健全育成・安全の確保を図っている。

## ⑨その他

「家庭の日」啓発のチラシ等を作成、配布し、啓発活動をしている。

## (7) 大垣市明るい青少年都市市民会議各支部への財政的支援

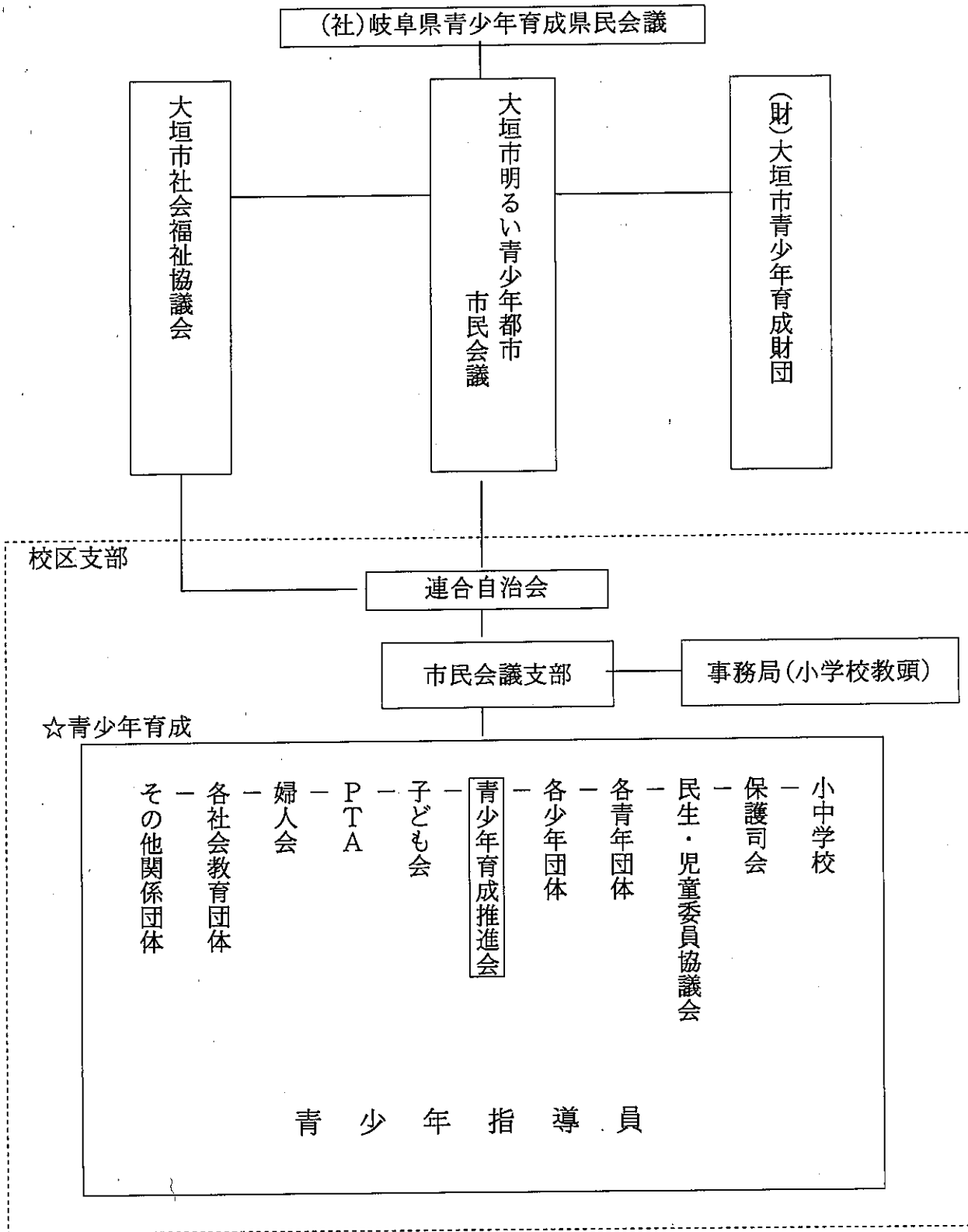
大垣市から各支部へ

28,000円×22支部＝ 616,000円 運営補助金を受けている。

財団法人大垣市青少年育成財団から各支部へ

100,000円×22支部＝2,200,000円 運営補助金を受けている。

(8) 大垣市明るい青少年都市市民会議 各支部組織図



## 19. 財団法人大垣市青少年育成財団の概要

### (1) 団体名

財団法人大垣市青少年育成財団

### (2) 目的

青少年健全育成事業の推進、支援、援助を行い、心豊かな青少年の育成に寄与することを目的とする。

### (3) 設立経緯

昭和60年から	基金の積立開始	
平成 2年 3月15日	大垣市青少年育成基金打ち合わせ	
平成 2年 4月 3日	大垣市青少年基金設立準備会	
平成 2年 5月 7日	大垣市青少年育成基金設立発起人会	
平成 2年 5月21日	大垣市青少年育成基金（仮称）設立理事予定者会議	
平成 2年 6月 8日	大垣市青少年育成基金設立総会	
平成 2年10月 1日	大垣市青少年育成基金理事会 大垣市青少年育成財団を設立するため寄附を決定	
企業・団体 (86)	61,242,000円	①基本財産 150,651,323円 ②運用財産 2,290,000円
個人 (23)	14,408,000円	
大垣市	75,000,000円	
利息	2,291,323円	
平成 2年11月 9日	財団法人 大垣市青少年育成財団設立許可申請	
平成 2年12月 1日	財団法人 大垣市青少年育成財団設立許可	
平成 2年12月 5日	財団法人 大垣市青少年育成財団設立	

現在の基本財産と運用財産

【基本財産】	【運用財産】	
187,550,000円	4,099,221円	(平成22年3月31日現在)

### (4) 役員等

理事長	1人
副理事長	5人以下
専務理事	1人
常務理事	8人以下
理事	40人以下（理事長、副理事長、専務理事及び常務理事を含む）
監事	2人

### (5) 設立趣意書（平成2年設立当初のもの）

次代を担う青少年が、豊かな創造力や自主性を身につけ、人間尊重と連帯の精神にあふれ、心身ともに健康でたくましい人間として成長していくことは、15万市民すべての願いであります。

しかしながら近年、複雑な社会環境の影響等により、青少年の非行、問題行動はますます多様化、低年齢化の傾向にあり、まことに憂慮される現状です。

このような青少年にかかわる諸問題の解決は、市民の責務であることを強く認識し、昭和58年大垣市明るい青少年都市市民会議を強化し、17小学校校下に支部を設置しま

した。

以来、家庭、学校、地域が一体となり、また各種団体が協力して青少年の健全育成に取り組んでおりますが、さらに、今まで以上に、青少年健全育成活動を推進し、その事業充実のための支援を強化することが急務であると思います。

こうした観点から、より幅広く、かつ円滑な青少年育成を進める組織として、財団法人大垣市青少年育成財団を設立するものであります。

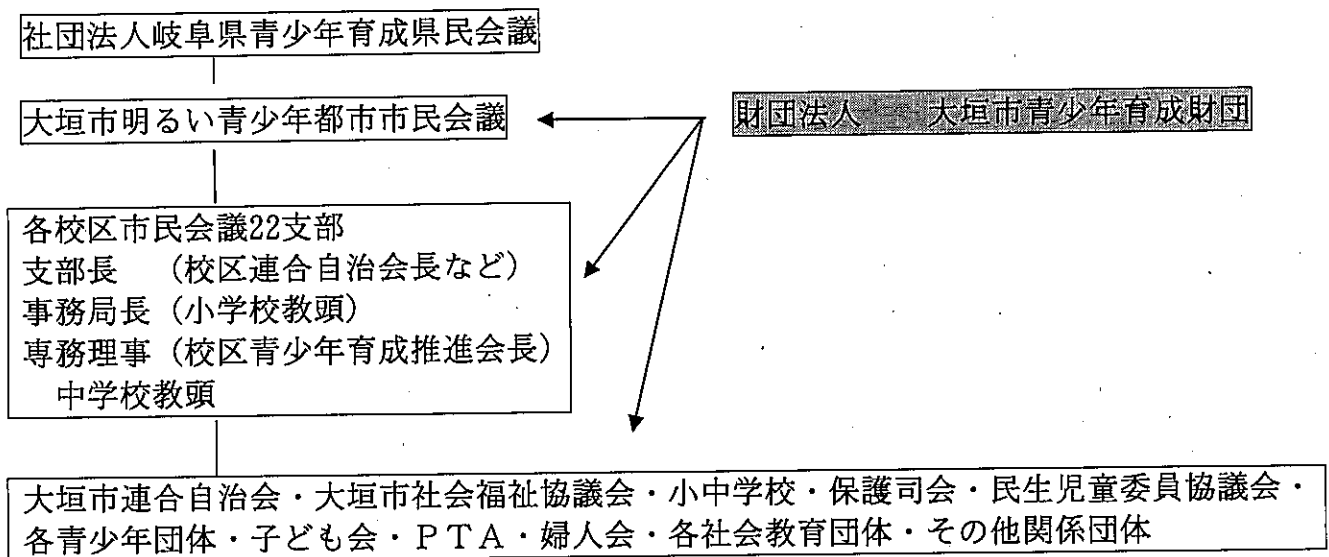
#### (6) 育成財団と市民会議の関係について

大垣市明るい青少年都市市民会議（以下「市民会議」という。）と育成財団はともに青少年の健全育成という同一の目的をもって事業を行うが、財団は市民会議を支援し、充実強化をはかるといふ側面をもっている。

市が市民会議の事業として予算化していたものから、次の事業の予算を財団から補助金として交付するもの。

- ・大垣市明るい青少年都市市民会議運営補助
- ・大垣市明るい青少年都市市民会議支部活動補助（市からも補助金を支出）
- ・大垣市明るい青少年都市市民会議大会
- ・大垣市少年の主張大会
- ・「大垣の青少年」の発行

#### ○育成財団と市民会議等の関係図



(7) 平成22年度事業実施計画

事業名	内	容
青少年健全育成活動の推進、支援、援助	青少年団体等育成補助	・育成すべき団体の活動、運営の補助
	青少年団体等事業補助	・青少年団体が行う事業への補助
	大垣市少年の船事業補助	・市内小学校6年生児童を対象にした洋上研修事業補助
	大垣ジュニアリーダーズクラブ補助	・子ども会のリーダーを養成するジュニアリーダーズクラブ活動への補助
	大垣市青年のつどい協議会補助	・大垣市青年のつどい協議会への補助
	大垣市青少年育成推進員会補助	・市民会議の活動を推進するための青少年育成推進員会への運営補助
大垣市明るい青少年都市市民会議への支援事業	大垣市明るい青少年都市市民会議支部補助	・市民会議支部の青少年育成推進活動への補助
	大垣市明るい青少年都市市民会議運営補助	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民会議の理事会、合同会議運営への補助</li> <li>・「大垣の青少年」の発行</li> <li>・大垣市少年の主張大会への補助</li> <li>・大垣市明るい青少年都市市民会議大会への補助</li> </ul>
財団自主事業		・市民会議支部活動補助
その他財団の目的達成に必要な事業		・随時検討して実施
財団を運営する会議の開催		<ul style="list-style-type: none"> <li>・財団常務理事会（2回）</li> <li>・財団理事会（2回）</li> <li>・その他必要な会議</li> </ul>